

2011年度

科目名	薬学概論				
担当教員	谿 忠人、田中 慶一				
配当	薬科1			コード	12025
開期	前期	講時	月曜日2限	単位数	2
授業テーマ	【必修】生命に関わる職業人(医療人)になることを自覚する。薬学部の教育目標「人間性豊かな科学者としての薬剤師の養成」を理解する。薬の専門家として身につけるべき知識・技能・態度の概要を理解する。薬剤師が活躍する現場で体験学習する。				
目的と概要	<p>薬学概論では①本学の理念「報恩感謝、自立、創造、共生」と薬学部の教育目標を理解する。(薬学部の目標:「生命科学・医療科学的専門知識と技能および実践力を備え、高い倫理観を有する人間性豊かな薬剤師を養成し、国民の健康・福祉の向上に寄与する」)。</p> <p>②6年制薬学教育の概要と到達目標を知る。具体的には、薬学教育モデル・コアカリキュラム(コアカリ)のAヒューマニズムについて学ぶ、Bイントロダクション(薬学入門、早期体験学習)の概要を知り、薬学の学び方、薬剤師に必要な資質(科学性と人間性)と薬剤師の業務内容の概要を修得する。</p> <p>③早期体験学習では薬局、病院と企業の現場を体験し薬剤師の業務を見聞する。</p>				
成績評価法	レポート(50点)と早期体験学習の評価(50点)の合計で評価します。早期体験学習点は、少人数討論(SGD: small group discussion)の態度、討論結果の発表態度とポスター内容および出席状況(6、14、15回と早期体験学習の出席は必須)と態度を評価します。				
テキスト	日本薬学会(編)/スタンダード薬学シリーズ1/「ヒューマニズム・薬学入門」/東京化学同人				
参考書	村田正弘(編)/早期体験学習ハンドブック/ネオメディカル				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 掲示を見ること:授業に関する連絡は、薬学部棟1階掲示板に提示するので確認してください。</li> <li>2. 集中講義に注意:2-6回の早期体験学習の事前授業は集中講義で実施します(講義室は別途掲示)。</li> <li>3. 出席が必須:早期体験学習、SGD(6回目と14回目)および15回目の発表会は出席することが必須です。</li> <li>4. ノートと自習(予習・復習) 講義の要点を把握して聴き取りノートに記述し自宅で復習してください。</li> <li>5. 到達目標(SBOs)とコアカリ対応番号は「薬学部学習マニュアル」を参照してください。</li> <li>6. 学習領域:知識(知らなかったことを知ること);態度(やらなかったことをやるようになること)。</li> <li>7. マナー講習会:早期体験学習の準備として挨拶・マナー・身だしなみ講習会(期日は別途掲示)。</li> <li>8. 早期体験学習:病院、保険薬局、企業の1日体験学習(期日は別途掲示)。</li> <li>9. 補助教員:臨床薬理学、実践医療薬学、医療薬学、薬剤学、薬物動態学、医薬品開発学講座の教員。早期体験学習の引率は薬学部の全教員が担当します。</li> </ol>				
講義計画					
回数	授業形態	授業内容	到達目標(SBO)	コアカリ対応番号	学習領域
1	講義	大学生の心構え 医療人の心構え シラバスとは 薬学概論の狙い コアカリとは (谿)	1. 大学で学ぶ心構えを確認する	独自	知識
			2. 本学・本薬学部の医療人教育を概説できる	独自	知識
			3. シラバスの意味を概説できる	独自	知識
			4. 薬学概論の狙いを概説できる	独自	知識
			5. コアカリの意味と目標を概説できる	独自	知識
2	講義	早期体験学習の事前講義(1)心構え (谿、補助教員)	1. 医療の目的を概説できる	A(1)	知識
			2. 医療行為に関わる心構えを概説できる	A(2)	知識
			3. 医療の担い手が守るべき倫理規範を概説できる	B(2)	知識
3	講義	早期体験学習の事前講義(2)病院 (谿、補助教員)	1. 病院の医療、医療チームと薬剤師を概説できる	A(2)	知識
			2. 患者の気持ちに配慮する重要性を概説できる	B(1)	知識
4	講義	早期体験学習の事前講義(3)薬局 (谿、補助教員)	1. 保険薬局の医療と薬剤師を概説できる	A(2)	知識
			2. 薬剤師と地域社会の関わりを概説できる	B(2)	知識
			3. 医薬品の供給と管理を概説できる	B(2)	知識

5	講義	早期体験学習の事前講義(4)企業(谿、補助教員)	1. 医薬品の創製における薬剤師の役割を概説できる	A(2)	知識
			2. 製薬企業における薬剤師の活動分野を概説できる	B(1)	知識
			3. 新薬の開発の流れを概説できる	B(1)	知識
6	討論(SGD)	早期体験学習の事前討議:心構え、目的の再確認、課題の設定(谿、補助教員)	1. 早期体験学習の見学の要点に関するSGD	A(2)	態度
			2. 医療と薬剤師の関わりを概説できる	B(1)	知識
			3. 体験学習の自己学習の課題を見出す	B(1)	知識
7	講義	生命の尊厳と医療(田中)	1. 誕生、医療、死に関わる倫理的問題を概説できる	A(1)	知識
			2. 先進医療と生命倫理を概説できる	A(2)	知識
8	講義	社会と薬学(田中)	1. 薬学・薬剤師に対する社会の期待を概説できる	A(1)	知識
			2. 現代社会と薬学の接点を概説できる。特に麻薬、大麻、覚醒剤、薬害(医療安全)	B(1)	知識
9	講義	医療と薬学の歴史 薬剤師の歴史 薬の発見の歴史(谿)	1. 医療と薬学の歴史を概説できる	B(1)	知識
			2. 薬剤師の誕生の歴史を概説できる	B(1)	知識
			3. 医薬分業の意味を概説できる	B(1)	知識
			4. 薬の発見の歴史を概説できる	B(1)	知識
10	講義	薬について 薬の特性 薬の分類(谿)	1. 薬とは何かを概説できる	B(1)	知識
			2. 薬の特性を概説できる	B(1)	知識
			3. 医薬品の分類を概説できる	B(1)	知識
11	講義	医療(治療と予防) セルフメディケーション NBMとEBM(谿)	1. 医療(治療と予防)を概説できる	A(2) B(1)	知識
			2. セルフメディケーションを概説できる	B(1)	知識
			3. NBMとEBMを概説できる	独自	知識
			4. 薬剤師の資質を概説できる	B(1)	知識
12	講義	日本薬局方(田中、補助教員)	1. 日本薬局方の意義と内容について概説できる	B(1)	知識
13	まとめ講義	現代社会と薬学の接点(谿)	1. 薬物乱用の影響と防止を概説できる	B(1)	知識
			2. 生涯学習の必要性を説明できる	A(2)	知識
			3. 医療の担い手としての心構えを概説できる	A(1)	知識
			4. (総括)6年制薬学教育の狙いを概説できる	独自	知識
14	討論(SGD)	早期体験学習の経験を討議(田中、補助教員)	1. 早期体験学習で得た知識を少人数に別れて討議しまとめる	B(2)	知識 態度
			2. 病院、薬局、製薬企業などの重要性や社会に果たしている役割を討議する	B(2)	知識 態度
15	発表	早期体験学習の経験を討議した結果を発表(田中、補助教員)	1. 少人数に別れて討議しまとめた早期体験学習の知識を発表する	B(2)	知識 態度
			2. 保健、福祉の重要性を体験に基づいて発表する	B(2)	知識 態度
授業方法					
一般目標	学習方法	場所	教員数(補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
A(1) A(2) B(1)	講義	講義室	2(8)	配付資料	90分×12回

B(2)	体験 討論 発表	病院、薬局 企業など	8(薬学部全教 員)		180分×3回
------	----------------	---------------	---------------	--	---------